

令和元(2019)年度入学生 キャリア教育全体計画

| | | | |
|------|----|---------|----------------|
| 学校番号 | 67 | 学校名(課程) | 下伊那農業高等学校(全日制) |
|------|----|---------|----------------|

1 全体目標

○地域の産業や社会を担う有為な人材として必要な能力・態度を醸成するとともに、一人ひとりの進路希望を実現化していく力を養う。

2 現状・課題

○多くの生徒が、自分の将来を想像できない現状を鑑み、1年次から段階的に経験を積ませることで、自分に必要なことを理解させる。また、それらの経験を基に、実現するための方策を自らが考え行動していく力を養う。その一助として、今年度から取り組む、ポートフォリオの活用方法を模索していく。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】:人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。学校で言い換えた「力」でもよい。

- a 社会人としての基本的な生活習慣を身につけるとともに、マナー・規範意識等を醸成し、自己理解・自己管理能力及び人間関係形成能力を育成する。
- b 自己を知り・産業社会や職業を理解するとともに、進路に対する意識を高め、キャリアプランニング能力を育成する。
- c 産業や社会を取り巻く諸課題を理解するとともに、他者と協働して主体的に課題解決を図ろうとする態度を醸成し、課題対応能力及び社会形成能力を育成する。

4 内容

| 指導項目 | 指導方針〈対応する項目〉 |
|---------------------------------------|---|
| ①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する。 | ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉える。 イ 各取組の繋がりを意識し、3年間の系統的な指導を行う。 ウ 講演会や就業体験活動等は事前・事後指導、特に振り返りと身についた力(基礎的・汎用的能力)の確認をする。〈②、③〉 |
| ②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む。 | エ 年度末に評価(教員、生徒自身)を行い次年度の取組や指導に生かす。 オ 社会や世界の様々な現実や課題、人間の生き方について考えさせる。〈①〉 |
| ③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える。 | カ 知識、技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランス、言語活動の充実を図る。学んでいることと社会のつながりを意識させる。〈②、④〉 |
| ④卒業後の進路を選択し、その実現をめざす。 | キ 家庭や地域社会、産業界等の力を活用する。就業体験活動等、地域社会での体験活動を推進する。〈②、③〉 ク 数多くの資格を取得させる。〈②、③、④〉 |

| 指導場面等 | 指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉 |
|------------------|--|
| 教科の授業 | ・各科の教育目標に従い、専門的知識・技能を学ぶことにより職業観・勤労観を醸成する。〈1～3年〉 ・自ら計画、実施し、検証する等の学習活動を実施する。〈2・3年〉 |
| 総合的な学習の時間 | ・「課題研究」における研究・調査等を通じて、課題解決能力を育成する。〈3年〉 |
| 特別活動 | ・進路講話、進路ガイダンスの実施 〈1～3年〉 ・勤労観、職業観を養い、それぞれが学んでいる科の専門科目との関連を探究する。〈2年〉 |
| 校外の体験活動(就業体験活動等) | ・企業研修参加の拡充 〈1～3年〉 ・農業関連産業就業体験 〈2・3年〉 ・先進農家体験研修(希望者) 〈1～3年〉 ・ボランティア、海外交流、オープンキャンパスへの参加(希望者) 〈1～3年〉 |
| 地域や産業界等との連携 | ・就業体験の依頼 〈1～3年〉 ・実習への講師派遣 〈1～3年〉 |
| 評価 | ・生徒、教員アンケート並びに面談及び学校評価により、課題と成果を明確化する。〈1～3年〉 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用 〈1～3年〉 |
| 中学校との連携(指導の継続性) | ・飯田市内中学校とのキャリア教育担当者連絡会を開催 |

| | |
|---------|--|
| 校内の推進体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・学科主任会や関連分掌組織において連携を図り、教科学習、キャリア教育及び進路指導等が有機的につながる組織的・体系的なキャリア教育を推進する。 ・進路活動は団体戦である。一人一人が自覚を持って行動し、全員で進路実現を目指す。 |
|---------|--|

5 学年別指導計画

| | 1 年 | 2 年 | 3 年 |
|-------|---|--|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の確立をさせ、進路実現のために、各教科と連携し基礎学力の定着を図る。 ○手帳を使って、学習・各種活動を記録させ、自分の行動を振り返り計画を立てさせる。 ○社会や進路状況を、講話を通じて学ばせ、進路選択について考えさせる。 ○進路意識を啓発させながら、各種校外研修にも参加させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣・マナー等を確立する。 ○職業理解等を深め進路目標を考える。 ○将来の進路選択を踏まえた科目選択及び課題研究のテーマを設定する。 ○確かな学力の定着を図る。 ○多くの資格・検定等を取得する。 ○自らの活動を振り返り、記録を残す習慣を定着させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○進路実現に向け積極的な取り組みを目指す。 ○生活習慣・マナー等を定着する。 ○企業・上級学校等についての知識・理解を深めて進路先を具体化し、進路実現を図る。 ○確かな学力の定着と向上を図る。 ○多くの資格・検定等を取得する。 ○記録をもとに、自らの活動を表現する力をつける。 |
| 主 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> ○面談、進路講話、グループワーク ○手帳を活用した活動記録の蓄積 ○進路意識調査 ○就業体験等の体験学習。 | <ul style="list-style-type: none"> ○面談、進路講話、グループワーク ○進路調査 ○学力の検査 ○就業体験等の体験学習 ○手帳を活用した活動記録の蓄積 | <ul style="list-style-type: none"> ○面談、進路講話、講習会 ○進路調査 ○就業体験・オープンキャンパス等 ○課題研究発表会 ○ポートフォリオの作成 |
| 評 価 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・生徒・教員アンケート ・資格等取得状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・生徒・教員アンケート ・資格等取得状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・進路状況 ・生徒・教員アンケート ・資格等取得状況 |

年間指導計画と各取り組みの関連 (* 就業体験活動、校外活動は□で囲む。)

| | 教 科 | 総合的な学習の時間 | 特別活動 | その他 (面接・評価等) |
|------------|--|--|--|---------------------------------|
| 1 年 | 5 農業経営「農業経営と地域農業」 6 農業と環境「農業の役割、地域の農業」 | | 4 高校生活オリエンテーション 挨拶・身だしなみ指導 進路希望調査 基礎力診断テスト 進路適正検査 6 学年集会「進路講話」 | 5 面接 7 三者懇談 |
| | 夏休 資格取得指導 | | | |
| | 9 農業経営「農業と協同組合」 家庭総合「地域の食材活用」 10 農業経営「農業経営者の役割」 | 11 稲丘祭 | 10 学年集会「外部講師による進路講話」 12 基礎力診断テスト | 11 生徒意識調査(県教委) 12 三者懇談 |
| | 1 保健「応急手当の意義と方法」 春休 | 1 課題研究発表会参加 | 2 3年生の話を聞く会 進路ガイダンス | 2 生徒・教員アンケート |
| 2 年 | 4 総合実習「環境調査」 6 保健「高齢者のための社会の取り組み」 7 グリーンライフ「地域農産直売」 発達と保育「保育園実習に向けての学習」 | | 4 面接、分野別進路ガイダンス 基礎力診断テスト 5 進路希望調査・保護者向け進路講話 6 クレバリン検査 就業体験事前指導 / 7 キャリア講話 | 4 面接 7 三者懇談 |
| | 夏休 資格取得指導 | | 職場体験(3~5日間学科関連以外) オープンキャンパス / 補習 | |
| | 9 総合実習「地域の環境保全」 10 家庭総合「高齢者の生活と福祉」 就業体験学習 11 地域計画「伊那谷の食文化」 | 11 稲丘祭 | 10 見学旅行事前指導 11 各科見学旅行(3日間) 高校内企業説明会 12 基礎力診断テスト | 11 生徒意識調査(県教委) 12 三者懇談(進路決定) |
| | 2 総合実習「ごみとリサイクル」 春休 | 1 課題研究発表会へ参加 研究テーマの考案 2 テーマ設定及び計画立案 | 1 本年度の進路状況(進路主事講話) 2 小論文模試 2 進路ガイダンス / 3年生の話を聞く会 職場体験(第一志望の企業) | 2 生徒・教員アンケート |
| | 4 国語表現「原稿用紙の使い方」 5 現代社会「私たちの権利と日本の政治」 6 現代社会「国際政治の動向・地球環境」 | 4 研究テーマの設定・計画 ↓ 研究・調査・製作 | 4 面接・進路調査 一般常識テスト / 進路ガイダンス 5 事業所見学会 進学補習、課題作文模試 7 求人票受付開始 求人票の見方履歴書の書き方 | 4 進路に向けて面接指導 ↓ 7 三者懇談 |
| 夏休み 資格取得指導 | ↓ | 8 就職希望者履歴書・面接指導 就職試験から内定までの指導(受験報告書・礼状)個別指導(出願書類の記入等) | 随時 進路に向けて面接 ↓ | |

| | | | | |
|----|--------------------------|--|--|---------------------------|
| 11 | 国語表現「敬語の使い方・電話対応・手紙の書き方」 | 8 中間発表会 11 稲丘祭 12 課題研究のまとめ 発表準備 | 9 就職出願開始 → 就職試験開始 10 受験報告 11 就職未定者指導 | 11 生徒意識調査(県教委) 12 三者懇談 |
| 2 | 消費者教育講話 | 1 課題研究発表と冊子作成 | | 1 生徒・教員アンケート |